総括表(社会福祉施設)

【子供・子育て支援部所管関係】

				評価			総合評価			
施設種別(数)・施設名	指定管理者名	水準を 上回る (2点)	水準 どおり (1点)	水準を 下回る (O点)	加点	合計点	S:30点以上 A:28点以上29点以下 B:20点以上27点以下 C:19点以下	特記事項	要改善事項等	
1 児童養護施設 東京都石神井学園	社会福祉法人東京都社会福祉事業団	5/21	14/21	1/21	2	26	В	援の充実を図っている。 〇高年齢児童や情緒・行動上の課題を抱える児童への支援を 行っている。重篤な愛着障害等がある児童を対象として生活支	〇職員による入所児童への不適切な対応(被措置児童虐待)が発生した。事案発生後、施設全体で支援の振り返りを行い、人権意識醸成のための取組や、園として支援のスタンダードを検討し、成果物を作成する	
2 児童養護施設東京小山児童学園	社会福祉法人東京都社会福祉事業団	4/21	17/21	0/21	3	28	A	○情緒・行動上の問題を抱える中高生を確実に受け入れるという公的役割を果たしている。高校生寮を設置し、丁寧な進路指導やきめ細かなアフターケアを行うことで、退所後の進路先への定着を図るなど、高年齢児童の自立支援に実績をあげている。 ○職員倫理綱領など、様々な文章にて職員の順守すべき倫理などを示している。また、「支援のこころえ」をまとめ、職員は毎日確認の上で業務に就いている。また、寮運営の手引きも作成しており、運営方針、子どもの権利擁護、入退所、支援における確認事項、自立支援、行事、保健衛生、地域、災害など多岐にわたっている。他にも記録、自立訓練、自立支援計画など、様々なマニュアルが整備され、職員は常に確認し、日々の業務に生かしている。 ○リスクマネジメント委員会が中心となり、安全性向上に向けた様々な取り組みを進めている。行方不明捜索カード・自転車管理表の更新、災害時児童連絡簿の確認、アルバイト先一覧、各寮スマートフォン確認、インシデントレポート集計・分析、ヒヤリハットの確認・検討、事故報告書の確認・検討等、子どもが安全に過ごすことができるように細心の注意を払っている。	<i>†</i> >1	

				 評価			総合評価		
3	児童養護施設 東京都船形学園	社会福祉法人東京都社会福祉事業団	4/21 17/21	0/21	4	29	A	○入所の際は、入所前面談を行った職員が、当日の受け入れ時にも勤務しており、子どもを温かく迎え入れている。入所時は子どもが好きなメニューも提供している。また、園の心理士による個別心理面接を行い、多面的に子どもの状況を把握している。 ○「船形学園虐待防止規定」の実践を徹底し、虐待防止に対する意識を高めるとともに、e-ラーニング型の虐待防止研修や、過去事例を通した注意喚起を行っている。また、園の苦情や意見を出しやすいよう、苦情受付担当者と補助者がリーフレットを直接配布し、苦情解決制度を説明している。職員以外に園が依頼している弁護士、地域関係者、主任児童委員への相談もできることを伝えている。出された意見や要望には速やかに対応している。 ○大規模な地震などを想定した事業継続計画や対応マニュアルを整備し、全職員がいつでも確認できるようにしている。	なし
4		社会福祉法人東京都社会福祉事業団	4/21 17/21	0/21	4	29	A	○入所児童のうち多くが非社会的行為のある児童であり、情緒的な問題のある児童も9割以上に及ぶ。反社会的行為(暴力、万引き等)のある児童及び家族対応に苦する児童の割合も約7割となっている。児童相談所、学校、医療機関等の関係機関と連携しながら、医療的・心理的ケア等の専門的支援を行った。 ○子どもの意見表明権を手厚く保障するため、子どもの側に寄り添って意見表明を支えるための周知・啓発を行っている。実際に令和6年4月施行の改正児童福祉法については、職員へ法改正のポイントについてスライドにまとめたうえで説明を行い、職員の理解が深まるように取り組んだ。 ○園内における危険な箇所、死角となる場所を示した、死角マップを作成し、職員が有事に迅速に行動できるよう準備している。	なし

評価							総合評価		
5	児童養護施設 東京都勝山学園	社会福祉法人 東京都社会福祉事業団	3/21 18/21	0/21	4	28	A	〇毎年園独自の利用者満足度調査「ほんとのきもちアンケート」を行い、対面で自分の意見を表出しにくい子どもも意見を表明できるようにしている。アンケート結果は読みやすい冊子としてまとめて、職員のメッセージとともに子どもに返している。 〇学園行事への招待、地区祭礼や小中学校の除草作業等環境美化運動、災害時の相互応援などを通じて地域との交流・連携を一層促進させ、地域の一員と責任と役割を果たしている。	なし
6	児童養護施設 東京都片瀬学園	社会福祉法人東京都社会福祉事業団	2/21 19/21	0/21	3	26	В	○アフターケア計画を立て、関係機関と連携して一人ひとりの子どもの状況に応じて、主に寮職員が中心になって定期的に連絡や訪問をして退園後も継続して支援している。子どもからの連絡は公用スマートフォンで随時受けており、一人暮らしや公的手続きに関する不安が多く、必要に応じて話し相手になったり、相談に応じて手続きに同行するなど、自立生活ができるように支援している。 ○2人の心理職が役割分担をしながら、入所児童の心の不調に対応している。1人はセラピー室で個別の心理療法を中心にし、もう一人は各寮に出向き、寮の福祉職に混じって児童とのコミュニケーションをとることに重心を置いている。このようなバリエーションを持つことで、大きな網をかけるように、様々な場面で児童の心の不調を捉え、対応することができている。 ○子育て専門機関として「子育て講演会」の開催や地域クラブや子ども会への積極的な参加を通して、地域の教育環境の向上に努めている。	なし

施設名 **東京都石神井学園** (所在地) (東京都練馬区石神井台三丁目35番地23号) 施設種別 施設種別 児童養護施設 指定管理者 社会福祉法人東京都社会福祉事業団

【評価項目】

評価 大項目 中項目 確認項目 評価水準 水準を上回る 水準どおり 水準を下回る 配点 評価理由 1点 2点 0点 協定や事業計画に沿った管理が適切に履行されているか ○法令等に基づく職員配置基準どおりに適 ○法令等に基づく職員配置基準どおりに適切に配置され 切に配置している 1 〇人員配置は適切か 0 ○変更があった場合、事前に都に報告して ている。 ○業務の履行は適切か ┃・サービスの開始・終了時の対応は適切か **×**1 0 ○子どもの不安軽減のため、入所時には事前面接をした 職員が対応している。ウェルカムメニューや好みの洋服な どを用意し、入所後には心理士が面接し、子どもの不安や ストレス軽減に努めている。寮では事前に子どもの好きな 食べ物や、キャラクター、興味のある遊びなどを把握して、 ・個別状況に応じた計画策定・記録を行って 用意するパジャマの色や柄、食事等にできるだけ反映し、 3 0 × 1 いるか 「来てくれてありがとう」という気持ちを伝えて、寮の生活に 適切な管 早く慣れるよう努めている。 理の履行 〇毎年5月に策定した自立支援計画について、年2回の見 (項目ごとに評価をすること) 直しを行っている。10月には9月までの支援結果を振り返 ・個別の支援計画に基づき支援を実施する 〇福祉サービス第三者評価を受審し、サブ り、子どもの発達状況や取り巻く状況の分析をもとに、計 |とともに、利用者が充実した生活を送れるよ| 0 **×**1 カテゴリ一配下の標準項目数に対する実施 うに取り組んでいるか。 画の見直しを行っている。年度末には改めて専門職の意 ありの項目数割合が9割以上である 見を入れて個別の状況を確認しながら総括をして、次年度 の計画を作成している。 サービスの実施にあたって利用者のプライ ○施設全体の入所率は81.9%で、入所児童のうち、77% 5 |バシーに配慮し、個人の意思を尊重してい 0 × 1 が情緒的な問題を抱える児童、60%が非社会的行為(授 |業妨害、いじめ等)を抱える児童であり、児童相談所、学| 校、医療機関等の関係機関と連携しながら、CARE(ペアレ ンティングプログラム)やCVPPP(包括的暴力防止プログラ ム)、スキャッタープロットなどの支援プログラムを活用し、 医療的・心理的ケア等の専門的支援の充実を図っている。 ・事務所業務の標準化を図っているか 0 × 1 経営における社会的責任を果たしているか ○社会人・福祉サービス事業者として守るべき○福祉サービス第三者評価を受審し、サブ カテゴリー配下の標準項目数に対する実施 | 0 ことを明確にし、その達成に取り組んでいるか ありの項目数割合が9割以上である ○職員による入所児童への不適切な対応(被措置児童虐 待)が発生した。事案発生後、施設全体で支援の振り返り を行い、人権意識醸成のための取組や、園として支援のス 管理 タンダードを検討し、成果物を作成するなど、支援の充実 状況 に向けて取組改善を図った。 ○福祉サービス第三者評価を受審し、サブ 〇利用者の権利擁護の取組を行うとともに、 カテゴリー配下の標準項目数に対する実施 ×2 0 不適切な支援の防止に努めているか ありの項目数割合が9割以上である 法令等の 遵守、組 織マネジ 〇「東京都指定管理者制度に関する指針」 メント Ⅲ8に基づき、協定で定める受託施設として ○法律、条例等を遵守し、適切に施設を運営している。 9 | 〇関係法令等が遵守されているか × 1 0 守るべき法律・条令等を遵守し、適切に施 設を運営している 個人情報保護、報告等は適切になされているか 10 ○個人情報やその他の情報資産を適切に管理しているか × 1 0 ○事業に必要な情報は法人共通システムに記録しアクセ (項目ごとに評価する) ス制限等によって管理している。 ○福祉サービス第三者評価を受審し、サブ カテゴリ一配下の標準項目数に対する実施 ○広報紙「石神井いっぱい」を年3回発行し、児童相談所、 |ありの項目数割合が9割以上である| 都の福祉部局、学校等の関係機関に配付している。ホー 11 O利用者へのサービス情報の提供はなされているか 0 ムページには、子どもたちの園内の生活の1コマ、行事や × 1 イベント、旅行等の様子を適時掲載して学園での生活の様 子を広く伝えている。また、地域公開講座開催の情報を区 の広報紙に掲載して広く周知している。 ○月例報告等、都への定例的な報告を適 切に行っている ○都への報告は適時、適切に行われている。 ○事故等が発生した場合、必要な措置を 12 〇都への報告は適時、適切になされているか 0 **×**1 取った上で速やかに報告を行っている ○都による報告の聴取及び調査に対する 対応を適切に行っている 施設の安全性は確保されているか 〇子どもの安心安全が脅かされそうな状態をリスクと捉 え、事案を見つけ対応するため、毎週火曜日の朝礼で一 週間分のヒヤリ・ハットを報告し事故防止に努めている。そ | 0リスクマネジメントに計画的に取り組んでい ○福祉サービス第三者評価を受審し、サブ カテゴリー配下の標準項目数に対する実施 | × 1 0 の後運営会議で内容を検証して問題点を抽出し、改善策 ありの項目数割合が9割以上である 案を作った上でフロア代表者会議に諮り改善を進めてい る。また、防犯上の安全点検や見守りカメラ、防犯カメラに 安全性の より子どもの安心安全の確保に努めている。さらに、園 確保 長、副園長による定期的な寮巡回を行い、事故防止を強 ○構造物・設備等に関する法令等に定める 化している。 基準を遵守し、基本協定、年度協定で定め ○施設内外の構造物や設備等の安全確保や る「施設及び付帯設備の管理に関する要 ○夜間訓練を含む防災訓練(消火訓練及び避難訓練)を 14 |防災等の取組を行い、利用者の安全を確保し |領」等に基づき、適切に管理している 0 毎月実施し、災害時の防災対応の徹底に努めている。ま ているか 〇安全性を考慮した環境整備を行っている 〇避難及び消火訓練を実施している(法令 た、「事業継続計画及び対応マニュアル」を策定して地震 等で定められた所定回数) 災害に備えている。

_	切な	よ財務運営・財産管理が行われているか					
財務・財 産の状況	15	〇経理処理・経理に関する書類等の管理は適 切か	〇法人が行っている他の事業と経理を明確 に区分している 〇契約帳簿及び収支を明らかにした経理帳 簿等を適切に整備・保管している	×1	_	0	〇経理・物品関係の書類は、基本協定に基づいて処 れており、適切に経理処理及び財産管理が行われて
	16	〇都有財産(物品など)の管理は適切か	〇年度協定に基づく財産管理がなされている 〇保存物品整理簿を整備している 〇不適格品、亡失品等を報告している	×1	_	0	├────────────────────────────────────
求	えめら	・ れる水準のサービスの提供・サービス向上に向 「]けた創意工夫をしているか 				
	17	〇サービス向上等のために人材を育成してい るか	〇利用者へのサービス向上等のため、研修 計画を定め、計画に基づく人材育成を実施 している	×1		0	〇キャリア形成を通じた人材育成を目指しており、「人保委員会」、「人材育成委員会」を設置し、職員の経験や職種に応じた体系的な年間研修計画を立て、実施いる。実施にあたっては、職員の受講履歴などを記録また、自己啓発を促すなどして、一人ひとりに視点をて育成を進めている。
	18	〇利用者意向や地域の福祉の現状等、事業 を取り巻く環境に関する情報を収集・活用し、 サービス内容が向上しているか	〇福祉サービス第三者評価を受審し、サブ カテゴリー配下の標準項目数に対する実施 ありの項目数割合が9割以上である	×2	0		○権利擁護委員会を設置し「重大事故ゼロ運動」や切対応防止研修の悉皆受講などを組織的に位置付る。子どもたちへは権利ノートの説明会を行い、子ど利主体であることを伝え、園内に意見箱を設置したりども相談員(外部の第三者に委嘱)による相談会を定に行うなど、子どもの訴えに真摯に向き合っている。 ○練馬区及び中央区の子育て支援事業を受託し、システイ事業やトワイライトステイ事業を実施し(令和6:延べ利用者数:ショートステイ877人、トワイライトステ人)、地域の共通課題として関係機関との連携をより深めている。
事業の取 組・サー ビス内容 の向上	19	〇サービス向上に向けた創意工夫をしている か	〇確認項目1~18(9及び15,16を除く。)のいずれかにおいて、「水準を上回る」取組を行っており、かつ、更に評価すべき取組や実績、成果が認められる 〇ただし、上記確認項目のいずれかの評価が「水準を下回る」場合は、この項目は評価しない	×2	_	_	
行	政等	」 等との連携や地域との共生の推進に取り組んでし ・	いるか				
	20	〇行政や関係機関等と連携した事業を実施し ているか	〇年間事業計画等に基づき、都の政策と連動した事業や関係機関等との連携を図って いる	×1	0		〇地域貢献として、練馬区子育てネットワークや区要児童対策地域協議会など地域関係機関のネットワー参画している。 ○虐待に起因する重篤な情緒・行動上の問題を抱え童で、児童養護施設等に入所し、当該施設での集団に不適応となっている小学生児童を対象に、生活支療・教育の三部門が緊密に連携し、一体的なケアを持る連携型専門ケアモデル事業を実施(令和6年度平所率51.0%)。 ○令和4年度から開始した連携型専門ケア機能モデ業検証委員会にて、都等関係機関と連携して、事業に証、課題整理、今後の展開等の整理に向けた検討を的に進めており、施策推進の実施主体として中核的を担っている(令和7年度から本格実施)。
	21	〇地域の施設等に対する理解促進、また、地域の子育て家庭や地域で生活する障害者が安心して生活できるような取組を行っているか	〇地域住民を招待するなど、施設に対する地域の理解促進に取り組んでいる。または、地域の求めに応じ、子育て家庭や障害者等を対象に講演会や相談会を開催するなど、地域で児童や障害者が安心して生活できるよう取り組んでいる	×1	0		○子育てにかかる地域公開講座を開催し、地域にお 児童の健全な育成に貢献できるよう努めている。また 域の未就学児の親子を園に招くイベント「子育てサロ 開催し、近隣への貢献や交流に努めている。 ○アリーナなどの貸し出しなどを通じて、地域との連 力関係を強化している。

【1次評価結果】

要改善事項等

	標準点	評価基準						
評点	(京华·从	S	Α	В	С			
ц і лік	22 5	20占い F	28点以上	20点以上	10年以下			
	22点	30点以上	29点以下	27点以下	19点以下			

1次評価 結果	得点	В
柏朱	26点	

【確認事項】

11性心于"久"	
事業者の 財務状況	特段の問題は見当たらない。

〇職員による入所児童への不適切な対応(被措置児童虐待)が発生した。事案発生後、施設全体で支援の振り返りを行い、人権意識醸成のための取組や、園として支援のスタンダードを検討し、成果物を作成するなど、支援の充実に向けて取組改善を図った。

評価シート(社会福祉施設)

【評価項目】 評価 大項目 中項目 確認項目 評価水準 水準を上回る 水準どおり 水準を下回る 配点 評価理由 1点 2点 0点 協定や事業計画に沿った管理が適切に履行されているか ○法令等に基づく職員配置基準どおりに適 法令等に基づく職員配置基準どおりに適切に配置されて 切に配置している 1 〇人員配置は適切か 0 ○変更があった場合、事前に都に報告して いる。 いる ○業務の履行は適切か ○退所後のアフターケアまでを見通して自立支援してい る。卒園生にはスマートフォンを活用し連絡を取り合ってお り、訪問して対応する等、卒園後も継続した支援をしてい ┃・サービスの開始・終了時の対応は適切か 0 る。退所後の子どもから直接職場に呼びだされることもあ 2 × 1 る等、密接な関係が続いている。 | ○児童自治会を設け、子どもの意見を取り入れている。各 寮の代表児童が集まり自治会長を決め、子ども主体の行 |事を実施している。また、学園ルールに関する意見もあり、 寝る時間やゲームの時間等の見直しにつなげている。一 方で、職員の衣服への配慮として、子どもにTPOに合わせ |た衣類の選択を示唆したり、汚れや破れに気づくよう助言 ・個別状況に応じた計画策定・記録を行って 3 0 × 1 いるか したりしている。 ○学力の向上や学習習慣をつけるため、塾や学習ボラン 適切な |ティアを活用し、学習支援を行っている。小中学生は個別 管理の のボランティアに事務所内の一室で学習指導を受けてい 履行 る。また、中高生は、希望により通塾をしている。小学生で も通塾希望があれば、門戸を開いている。勉強が苦手な (項目ごとに評価をすること) |子等は職員が勉強の仕方を教えたり、その子どもに合った ・個別の支援計画に基づき支援を実施する ○福祉サービス第三者評価を受審し、サブ 教材を用意している。 とともに、利用者が充実した生活を送れるよ 0 カテゴリー配下の標準項目数に対する実施 うに取り組んでいるか。 ありの項目数割合が9割以上である ○情緒・行動上の問題を抱える中高生を確実に受け入れ るという公的役割を果たしている。高校生寮を設置し、丁 寧な進路指導やきめ細かなアフターケアを行うことで、退 |所後の進路先への定着を図るなど、高年齢児童の自立支 援に実績をあげている。 サービスの実施にあたって利用者のプライ ○施設全体の入所率は71.2%で、入所児童のうち約3割 バシーに配慮し、個人の意思を尊重してい 5 0 × 1 が精神的・発達的な問題を抱えており、児童相談所、学 るか |校、医療機関等の関係機関と連携しながら、医療的・心理| |的ケア等の専門的支援を行った。 ○職員倫理綱領など、様々な文章にて職員の順守すべき 管理 倫理などを示している。また、「支援のこころえ」をまとめ、 状況 職員は毎日確認の上で業務に就いている。また、寮運営 の手引きも作成しており、運営方針、子どもの権利擁護、 |入退所、支援における確認事項、自立支援、行事、保健衛 事務所業務の標準化を図っているか 0 6 **×**1 生、地域、災害など多岐にわたっている。他にも記録、自 立訓練、自立支援計画など、様々なマニュアルが整備さ れ、職員は常に確認し、日々の業務に生かしている。 経営における社会的責任を果たしているか ○子どもの権利擁護・苦情解決・リスクマネジメント委員会 ○福祉サービス第三者評価を受審し、サブ を中心に、子どもの権利擁護のための様々な取り組みを |〇社会人・福祉サービス事業者として守るべき| ことを明確にし、その達成に取り組んでいるか ありの項目数割合が9割以上である |カテゴリ―配下の標準項目数に対する実施 | ×1 0 実施している。小学一年、中学一年、新入所児童を対象と して「子どもの権利ノート」について説明し、子どもの理解 |が深まるようにしている。児童相談員が毎月、寮を訪問し、 |子ども達の話を聞いている。スーパーバイザーによる権利 擁護研修も実施されている。さらにセルフ・アナザーチェッ ○福祉サービス第三者評価を受審し、サブ ○利用者の権利擁護の取組を行うとともに、 クの実施と集計を行っており、子どもへの関わり方や言動 カテゴリー配下の標準項目数に対する実施 X2 0 不適切な支援の防止に努めているか 等について、20の観点から職員自らだけでなく、他の職員 ありの項目数割合が9割以上である の状況も確認し、改善に活かしている。 ○「東京都指定管理者制度に関する指針」 Ⅲ8に基づき、協定で定める受託施設として ○法律、条例等を遵守し、適切に施設を運営している。 9 ○関係法令等が遵守されているか × 1 0 守るべき法律・条令等を遵守し、適切に施 法令等 設を運営している の遵 守、組 織マネ |個人情報保護、報告等は適切になされているか ジメント 10 ○個人情報やその他の情報資産を適切に管理しているか 0 × 1 ○個人情報保護方針、守秘義務規定等の文書が整備され (項目ごとに評価する) ている。個人情報保護方針では、「個人情報の収集及び利 ○福祉サービス第三者評価を受審し、サブ |用について」等の6項目について具体的に述べており、職 カテゴリー配下の標準項目数に対する実施 員に周知徹底を図っている。 ありの項目数割合が9割以上である |〇利用者へのサービス情報の提供はなされて ○学園紹介パンフレット2種、施設紹介用ビデオ、ホーム 11 × 1 0 いるか |ページを活用し、適時に情報の更新を図っている。学園ブ ログの担当者を決め、定期的(月1回以上)に学園情報の発 信も行っている。 〇月例報告等、都への定例的な報告を適 切に行っている ○都への定例的な報告を適切に行っている。 ○事故等が発生した場合、必要な措置を 12 〇都への報告は適時、適切になされているか × 1 0 取った上で速やかに報告を行っている |○都による報告の聴取及び調査に対する 対応を適切に行っている

		施設の	の安全性は確保されているか					
	安全性 の確保	13	〇リスクマネジメントに計画的に取り組んでいるか	〇福祉サービス第三者評価を受審し、サブカテゴリー配下の標準項目数に対する実施ありの項目数割合が9割以上である	×1	0		〇リスクマネジメント委員会が中心となり、安全性向上に向けた様々な取り組みを進めている。行方不明捜索カード・自転車管理表の更新、災害時児童連絡簿の確認、アルバイト先一覧、各寮スマートフォン確認、インシデントレポート集計・分析、ヒヤリハットの確認・検討、事故報告書の確認・検討等、子どもが安全に過ごすことができるように細心の注意を共っている。ヒヤリハット集計報告では、項目別・
		14	〇施設内外の構造物や設備等の安全確保や 防災等の取組を行い、利用者の安全を確保し ているか	〇構造物・設備等に関する法令等に定める 基準を遵守し、基本協定、年度協定で定め る「施設及び付帯設備の管理に関する要 領」等に基づき、適切に管理している 〇安全性を考慮した環境整備を行っている 〇避難及び消火訓練を実施している(法令	×1		0	の注意を払っている。ヒヤリハット集計報告では、項目別・ 月別に集計した結果と必要な対策をまとめている。服薬 や、子どもの行動等に関する内容が多くなっており、原因 を分析して事故の未然防止に役立てている。 〇事業継続計画(BCP)及び対応マニュアルに基づく防災
				等で定められた所定回数)				訓練を毎月行うとともに、食料・備品等を備蓄している。
		適切な	は財務運営・財産管理が行われているか 	T The state of the				
	財務・ 財産の 状況	15	〇経理処理・経理に関する書類等の管理は適 切か	〇法人が行っている他の事業と経理を明確 に区分している 〇契約帳簿及び収支を明らかにした経理帳 簿等を適切に整備・保管している	×1	_	0	〇経理·物品関係の書類は、基本協定に基づいて処理されており、適切に経理処理及び財産管理が行われてい
		16	○都有財産(物品など)の管理は適切か	〇年度協定に基づく財産管理がなされている 〇保存物品整理簿を整備している 〇不適格品、亡失品等を報告している	×1	_	0	る。
		求めら	られる水準のサービスの提供・サービス向上に向]けた創意工夫をしているか				
		17	17 〇サービス向上等のために人材を育成しているか	〇利用者へのサービス向上等のため、研修 計画を定め、計画に基づく人材育成を実施 している	×1		0	○人材の採用に向け、学校訪問・採用説明会や施設見学会を開催している。法人の人材育成方針に基づき、新人職員の育成に注力している。法人や園の求める人材像やキャリアパス等について、初任者研修や園会議等の場で説明し、新人職員が目標をもって働くことができるようにしている。また、職員の階層別に研修体系が月単位で作成されている。全職員を対象とする虐待防止等の研修に加え、新任層、中堅層、リーダー層、チューター、サブマネージャー、マネージャーの各階層に習得すべき知識やスキルを明確にしている。
		18	〇利用者意向や地域の福祉の現状等、事業 を取り巻く環境に関する情報を収集・活用し、 サービス内容が向上しているか	〇福祉サービス第三者評価を受審し、サブカテゴリー配下の標準項目数に対する実施ありの項目数割合が9割以上である	× 2		0	〇利用者満足度調査を小学3年生以下には聞き取り、小学4年生以上は聞き取りや記述式で行い集計し、分析結果を子どもにフィードバックするとともに各委員会で職員間での共有を図っている。
事業効果	事業の 取組・ サービ ス内容	19	〇サービス向上に向けた創意工夫をしている か	〇確認項目1~18(9及び15,16を除く。)のいずれかにおいて、「水準を上回る」取組を行っており、かつ、更に評価すべき取組や実績、成果が認められる 〇ただし、上記確認項目のいずれかの評価が「水準を下回る」場合は、この項目は評価しない	×2		0 -	〇計画的にリービングケア、アフターケアを実施し、子どもに安心感を与えている。 〇寮職員と一緒に生まれた場所を訪問したり、入所時からの写真を保管し、アルバムを作成する等、生い立ちを整理する取組を通じて、愛着関係形成時に欠けた部分を埋める手助けをしている。
	の向上	行政等						○寮リーダーを中心に職員が一体となったOJTや外部の 支援力向上研修、トラウマインフォームドケア研修等を受 講し、支援のスキルアップを目指し、児童に関わっている。
			等との連携や地域との共生の推進に取り組んでし 					
		20	〇行政や関係機関等と連携した事業を実施し ているか	〇年間事業計画等に基づき、都の政策と連動した事業や関係機関等との連携を図っている	×1		0	〇事業計画等に基づき、児童相談所、学校、医療機関等 の関係機関と連携して事業を実施している。
		21	〇地域の施設等に対する理解促進、また、地域の子育て家庭や地域で生活する障害者が 安心して生活できるような取組を行っているか	〇地域住民を招待するなど、施設に対する地域の理解促進に取り組んでいる。または、地域の求めに応じ、子育て家庭や障害者等を対象に講演会や相談会を開催するなど、地域で児童や障害者が安心して生活できるよう取り組んでいる	×1	0		○地域の高齢者や子育て世帯の福祉ニーズである「健康で快適な地域生活の継続」の実現に必要な情報提供と意識向上を目的に、施設看護師や施設栄養士、施設心理職等による啓発リーフレットを作成し、自治会回覧板を通して情報提供を図っている。 ○これまで築いてきた地域との良好な関係を維持し、行事や防災訓練・施設開放を通して開かれた施設運営に努めている。園長が、児童が通う中学校のPTA会長、近隣の小・中学校、高校の学校評議員を担い、地域の情報収集及び必要な情報の発信を行っている。
								に開かれた施設づくりを進めている。
特記	事項	着を問います。	図るなど、高年齢児童の自立支援に実績 員倫理綱領など、様々な文章にて職員の , 運営方針、子どもの権利擁護、入退所、 アルが整備され、職員は常に確認し、日々 スクマネジメント委員会をが中心となり、安	きあげている。 り順守すべき倫理などを示している。また 支援における確認事項、自立支援、行 なの業務に生かしている。 そ全性向上に向けた様々な取り組みを違	た、「す ·事、保 進めて	を援のこころえ」 呆健衛生、地域。 こいる。行方不明	をまとめ、職員は毎日確認の、 、災害など多岐にわたってい。 月捜索カード・自転車管理表の	り細かなアフターケアを行うことで、退所後の進路先への定 上で業務に就いている。また、寮運営の手引きも作成して る。他にも記録、自立訓練、自立支援計画など、様々なマ の更新、災害時児童連絡簿の確認、アルバイト先一覧、各寮 とができるように細心の注意を払っている。
		/ \	」 ノカン H性D心、コンノ ナンドレハ ̄ド未引	ノ」///、L \ ノハノバン/唯心「快削、争り	\ +K 🖂	ロソルトの「伏引	「女、」こ U// 女土1〜廻しりし	にょ しこのの フィーヨロシストでは フィック。

要改善事項等なし

22点

【1次評価結果】

	標準点		評価基準							
評点	伝华 从	S	Α	В	С					
11 /M			28点以上	20点以上						

29点以下

30点以上

1次評価 結果	得点	A
結果	28点	

【確認事項】

E				
事業者の 財務状況	特段の問題は見当たらない。			

19点以下

27点以下

評価シート(社会福祉施設)

施設名 **東京都船形学園** (所在地) (千葉県館山市船形1377) 施設種別 児童養護施設 指定管理者 社会福祉法人東京都社会福祉事業団

【評価項目】 評価 大項目 中項目 確認項目 評価水準 水準を上回る 水準どおり 水準を下回る 配点 評価理由 2点 1点 0点 協定や事業計画に沿った管理が適切に履行されているか ○法令等に基づく職員配置基準どおりに適 ○法令等に基づく職員配置基準どおりに適切に配置され 切に配置している 1 〇人員配置は適切か 0 ○変更があった場合、事前に都に報告して ている。 いる ○業務の履行は適切か 〇入所の際は、入所前面談を行った職員が、当日の受け ┃・サービスの開始・終了時の対応は適切か 0 |入れ時にも勤務しており、子どもを温かく迎え入れている。 **×**1 また、園の心理士による個別心理面接を行い、多面的に 子どもの状況を把握している。 〇子どもの記録管理システム「あおぞら」が導入されてお り、子どもの日々の記録状況等を、PCの共通ファイル上で ・個別状況に応じた計画策定・記録を行って 0 **×**1 管理できるようになっている。記録はその場で作成でき、記 いるか 適切な管 録したものを他職員がどのPCからでも閲覧できるため、子 理の履行 どもの状況等をより早く把握できるようになった。一人の子 どもに対して家族状況や入園理由、健康面や発育面等入 園当初からの記録も一括して閲覧できるため、会議などの (項目ごとに評価をすること) ・個別の支援計画に基づき支援を実施する 子どもについての話し合いなどでも速やかに共通理解が ○福祉サービス第三者評価を受審し、サブ とともに、利用者が充実した生活を送れるよ 0 × 1 カテゴリ一配下の標準項目数に対する実施 できている。ヒヤリハット関連の記録や会議議事録も閲覧 |うに取り組んでいるか。 ありの項目数割合が9割以上である |でき、情報の共有化や仕事の効率化に繋がっている。 |○1泊2日の宿泊レクリエーションや外食などの体験を通じ て、家庭的な雰囲気の中で児童との愛着関係を育んでい ・サービスの実施にあたって利用者のプライ る。 バシーに配慮し、個人の意思を尊重してい 5 × 1 0 るか ○施設全体の入所率は54.3%で、入所児童のうち約9割が 健康上の問題、服薬管理等が必要であり、さらには5割以 上が家族対応に苦慮するケース、情緒的な問題を抱える ケースとなっている。児童相談所、学校、医療機関等の関 係機関と連携しながら、医療的対応、家族対応等の専門 0 ・事務所業務の標準化を図っているか × 1 的支援を行った。 経営における社会的責任を果たしているか │○福祉サービス第三者評価を受審し、サブ ○「船形学園虐待防止規定」の実践を徹底し、虐待防止に ○社会人・福祉サービス事業者として守るべき カテゴリー配下の標準項目数に対する実施 ×1 0 対する意識を高めるとともに、e-ラーニング型の虐待防止 ことを明確にし、その達成に取り組んでいるか ありの項目数割合が9割以上である 研修や、過去事例を通した注意喚起を行っている。また、 園の苦情や意見を出しやすいよう、苦情受付担当者と補 管理 助者がリーフレットを直接配布し、苦情解決制度を説明し 状況 ている。職員以外に園が依頼している弁護士、地域関係 ○福祉サービス第三者評価を受審し、サブ ○利用者の権利擁護の取組を行うとともに、 者、主任児童委員への相談もできることを伝えている。出 カテゴリー配下の標準項目数に対する実施 0 × 2 不適切な支援の防止に努めているか された意見や要望には速やかに対応している。 ありの項目数割合が9割以上である 〇「東京都指定管理者制度に関する指針」 Ⅲ8に基づき、協定で定める受託施設として 9 | 〇関係法令**等**が遵守されているか × 1 0 ○法律、条例等を遵守し、適切に施設を運営している。 守るべき法律・条令等を遵守し、適切に施 設を運営している 法令等の 遵守、組 織マネジ 個人情報保護、報告等は適切になされているか メント 10 ○個人情報やその他の情報資産を適切に管理しているか 0 × 1 ○職員は、法人の個人情報保護に関する研修に悉皆で参 加している。また、園でも個人情報保護の強化月間を定 (項目ごとに評価する) め、毎日の朝礼時に読み合わせを行うなど、情報管理の ○福祉サービス第三者評価を受審し、サブ 意識を高めている。個人情報はアクセス権限を設定するな カテゴリ一配下の標準項目数に対する実施 ありの項目数割合が9割以上である ど管理を徹底している。 |○利用者へのサービス情報の提供はなされて 11 いるか 0 **×**1 ○ホームページで日々の活動や子どもの様子をブログで 発信している。保護者や卒園生がよく閲覧し、面会等で来 所した際に感想を伝えてもらっている。 ○月例報告等、都への定例的な報告を適 切に行っている ○都による報告の聴取及び調査に対する対応を適切に ○事故等が発生した場合、必要な措置を 行っている。事故発生の際も迅速に報告を実施している。 12 〇都への報告は適時、適切になされているか 0 × 1 取った上で速やかに報告を行っている |○都による報告の聴取及び調査に対する 対応を適切に行っている 施設の安全性は確保されているか 13 ○リスクマネジメントに計画的に取り組んでい ○福祉サービス第三者評価を受審し、サブ ○子どもが安全・安心に生活できるよう、園内安全点検を カテゴリー配下の標準項目数に対する実施 × 1 0 四半期ごとに実施している。 るか ありの項目数割合が9割以上である ○事故やヒヤリハット報告の書式の簡易化と電子化を進 安全性の め、職員が報告を出しやすくしながら、結果を分析し、事故 確保 防止に活用している。 〇構造物・設備等に関する法令等に定める 基準を遵守し、基本協定、年度協定で定め ○大規模な地震などを想定した事業継続計画や対応マ る「施設及び付帯設備の管理に関する要 ○施設内外の構造物や設備等の安全確保や ニュアルを整備し、全職員がいつでも確認できるようにして 14 防災等の取組を行い、利用者の安全を確保し |領」等に基づき、適切に管理している 0 × 1 いる。 ているか 〇安全性を考慮した環境整備を行っている 〇避難及び消火訓練を実施している(法令 等で定められた所定回数)

		適切な	対務運営・財産管理が行われているか 					T	
	財務・財 産の状況	15	○経理処理・経理に関する書類等の管理は適	〇法人が行っている他の事業と経理を明確 に区分している 〇契約帳簿及び収支を明らかにした経理帳 簿等を適切に整備・保管している	×1	_	0		〇経理·物品関係の書類は、基本協定に基づいて処理さ
	, , , ,	16	〇都有財産(物品など)の管理は適切か	〇年度協定に基づく財産管理がなされている 〇保存物品整理簿を整備している 〇不適格品、亡失品等を報告している	×1	_	0		れており、適切に経理処理及び財産管理が行われてい る。
		求めら	 れる水準のサービスの提供・サービス向上に向	けた創意工夫をしているか					
		17		〇利用者へのサービス向上等のため、研修計画を定め、計画に基づく人材育成を実施 している	×1		0		○専門的支援が必要な子どもへの対応研修には非常勤 職員を含めて多くの職員が参加できるようにしている。 ○中堅職員の構成割合が低いため、OB職員によるスー パーバイズを1年を通して実施しており、支援の中核となる ベテラン職員、棟総括、フロアリーダー、サブリーダーの研 修に力を入れている。
事効果		18		〇福祉サービス第三者評価を受審し、サブカテゴリー配下の標準項目数に対する実施ありの項目数割合が9割以上である	× 2		0	j	〇子どもを対象に、独自のアンケート調査を行い、支援や 軍営に活かしている。 〇小・中学校との連絡会、地域の集会、市社協などに参加 」、課題やニーズを把握している。
	事業の取 組・サ内 ビス向上	19	〇サービス向上に向けた創意工夫をしている か	〇確認項目1~18(9及び15,16を除く。)のいずれかにおいて、「水準を上回る」取組を行っており、かつ、更に評価すべき取組や実績、成果が認められる 〇ただし、上記確認項目のいずれかの評価が「水準を下回る」場合は、この項目は評価しない	× 2		0	— R	○進路について、中学3年生の夏休みの初めに進路懇談会を設け、子ども本人が進路について意思表明する機会を確保する等、子どもの意思表明を支援する取り組みを行っている。また、模擬試験を受験する機会を設定し、志望校選択の参考とするとともに、受験に向けての意識を高めている。 ○学園内の高校生へ、マイナンバーカードの説明や、お金のおろし方等を自立支援コーディネーターが主となって教えている。
		√= π h Φ		\ 7.4\					
		行 以 考	Fとの連携や地域との共生の推進に取り組んでし 	າ ຈກາ				T	
		20	〇行政や関係機関等と連携した事業を実施しているか 	〇年間事業計画等に基づき、都の政策と連動した事業や関係機関等との連携を図っている	× 1		0		〇事業計画等に基づき、児童相談所、学校、医療機関等 の関係機関と連携して事業を実施している。
		21	〇地域の施設等に対する理解促進、また、地域の子育て家庭や地域で生活する障害者が 家心して生活できるような取組を行っているか	〇地域住民を招待するなど、施設に対する 地域の理解促進に取り組んでいる。また は、地域の求めに応じ、子育て家庭や障害 者等を対象に講演会や相談会を開催する など、地域で児童や障害者が安心して生活 できるよう取り組んでいる	×1	0		\(\lambda\)	○社会福祉法の趣旨を踏まえ、地域の実情やニーズに応 こて、地域で生活する住民等を支援する取組を推進している。 ○地域最大の行事である船形地区祭礼に、職員が地元警察と連携し交通整理に参加するとともに、年間を通じて小・ 中学校と連携し、校外指導等の協力及び地域と一体の安 全対策を推進している。

特記事項

要改善事項等なし

【1次評価結果】

	標準点		評価	基準	
評点	保华从	S	Α	В	С
H 7 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	22点	30点以上	28点以上	20点以上	19点以下
	22点	30点以上	29点以下	27点以下	コッポタト

1次評価 結果	得点	A
結果	29点	

【確認事項】

事業者の 財務状況	特段の問題は見当たらない。		

特命要件の継続 公的役割を果たす施設として、都の政策との連動性及び管理運営の特殊性が高く、利用者への長期的な安定したサービス提供が求められるため(継続有)。

評価シート(社会福祉施設)

 施設名
 東京都八街学園

 (所在地)
 (千葉県八街市八街に151)

 指定管理者
 社会福祉法人東京都社会福祉事業団

【評価項目】 評価 大項目 中項目 確認項目 評価水準 水準を上回る 水準どおり 水準を下回る 配点 評価理由 2点 1点 0点 協定や事業計画に沿った管理が適切に履行されているか ○法令等に基づく職員配置基準どおりに適 ○法令等に基づく職員配置基準どおりに適切に配置され 切に配置している 1 〇人員配置は適切か 0 ○変更があった場合、事前に都に報告して ている。 いる ○業務の履行は適切か ┃・サービスの開始・終了時の対応は適切か 0 **×**1 |○施設全体の入所率は72.5%で、入所児童のうち多くが非| ・個別状況に応じた計画策定・記録を行って 社会的行為のある児童であり、情緒的な問題のある児童 **×**1 0 いるか も9割以上に及ぶ。反社会的行為(暴力、万引き等)のある 適切な管 理の履行 児童及び家族対応に苦する児童の割合も約7割となってい る。児童相談所、学校、医療機関等の関係機関と連携しな がら、医療的・心理的ケア等の専門的支援を行った。 (項目ごとに評価をすること) ・個別の支援計画に基づき支援を実施する ○福祉サービス第三者評価を受審し、サブ とともに、利用者が充実した生活を送れるよ 0 〇小学生以下の児童とは就寝前の10分~15分を職員とマ **×**1 カテゴリ一配下の標準項目数に対する実施 |うに取り組んでいるか。 ンツーマンで過ごすことで児童との関係性を強めており、 ありの項目数割合が9割以上である 児童相談所と一緒に生い立ちを整理し、トラウマインフォー ムドケア対応にも携わっている。 ・サービスの実施にあたって利用者のプライ 〇子どもの意見も聞き取りながら、子ども主催のゲーム大 バシーに配慮し、個人の意思を尊重してい 5 × 1 0 会や各寮毎の夏の外出行事などを通じ、達成感や充実感 るか を得ることができる行事を実施している。 事務所業務の標準化を図っているか 0 **×**1 経営における社会的責任を果たしているか │○福祉サービス第三者評価を受審し、サブ 〇子どもたちが困ったことや悩みごとがあれば気軽に相談 ○社会人・福祉サービス事業者として守るべき カテゴリー配下の標準項目数に対する実施 | ×1 0 することができるよう、各寮に相談BOXと相談カードを設置 ことを明確にし、その達成に取り組んでいるか ありの項目数割合が9割以上である |する等の取り組みがみられる。また、子どもの意見表明権| を手厚く保障するため、子どもの側に寄り添って意見表明 を支えるための周知・啓発を行っている。実際に令和6年4 管理 状況 月施行の改正児童福祉法については、職員へ法改正のポ ○福祉サービス第三者評価を受審し、サブ イントについてスライドにまとめたうえで説明を行い、職員 ○利用者の権利擁護の取組を行うとともに、 カテゴリー配下の標準項目数に対する実施 × 2 0 不適切な支援の防止に努めているか の理解が深まるように取り組んだ。 ありの項目数割合が9割以上である ○「東京都指定管理者制度に関する指針」 Ⅲ8に基づき、協定で定める受託施設として ○法律、条例等を遵守し、適切に施設を運営している。 9 | 〇関係法令**等**が遵守されているか × 1 0 守るべき法律・条令等を遵守し、適切に施 設を運営している 法令等の 遵守、組 織マネジ 個人情報保護、報告等は適切になされているか メント 10 ○個人情報やその他の情報資産を適切に管理しているか × 1 0 (項目ごとに評価する) ○個人情報の適切な取り扱いや情報漏洩対策に努め、子 ○福祉サービス第三者評価を受審し、サブ どもにも重要性を周知している。 カテゴリ一配下の標準項目数に対する実施 ありの項目数割合が9割以上である 〇児童相談所での面談の際に、パンフレットなども活用し |○利用者へのサービス情報の提供はなされて 11 いるか て、学園の概要や暮らしがイメージできるよう、説明をして 0 **×**1 おり、事前見学の実現にも力を注いでいる。また、転入す る学校とも連携し、事前の学校見学も行われている。 ○月例報告等、都への定例的な報告を適 ○適時適切に都への報告を実施している。 切に行っている ○事故等が発生した場合、必要な措置を 12 〇都への報告は適時、適切になされているか 0 × 1 取った上で速やかに報告を行っている |○都による報告の聴取及び調査に対する 対応を適切に行っている 施設の安全性は確保されているか ○リスクマネジメント委員会が中心となり、マニュアルの改 訂、研修の実施、人権擁護チェックリストの記入等、具体 13 ○リスクマネジメントに計画的に取り組んでいるか ○福祉サービス第三者評価を受審し、サブ 的な方策が立てられている。 カテゴリ一配下の標準項目数に対する実施 × 1 0 ありの項目数割合が9割以上である ○園内における危険な箇所、死角となる場所を示した、死 安全性の 角マップを作成し、職員が有事に迅速に行動できるよう準 確保 備している。 ○構造物・設備等に関する法令等に定める 基準を遵守し、基本協定、年度協定で定め ○災害への対応力を高めるため、各種会議や総合防災訓 ○施設内外の構造物や設備等の安全確保や る「施設及び付帯設備の管理に関する要 |練、職員の参集訓練等を行っている。 14 防災等の取組を行い、利用者の安全を確保し「領」等に基づき、適切に管理している 0 ているか 〇安全性を考慮した環境整備を行っている ○停電や断水などの災害に備えて、非常用ガス発電機の 〇避難及び消火訓練を実施している(法令 設置、衛生携帯電話の整備、食料等の備蓄をしている。 等で定められた所定回数)

		適切な	は財務運営・財産管理が行われているか						
	財務・財産の状況	15	〇経理処理・経理に関する書類等の管理は適 切か	〇法人が行っている他の事業と経理を明確 に区分している 〇契約帳簿及び収支を明らかにした経理帳 簿等を適切に整備・保管している	×1	_	0		○経理・物品関係の書類は、基本協定に基づいて処理されており、済間に経歴問題を発展しませ
			〇都有財産(物品など)の管理は適切か	〇年度協定に基づく財産管理がなされている 〇保存物品整理簿を整備している 〇不適格品、亡失品等を報告している	×1	_	0		れており、適切に経理処理及び財産管理が行われてい る。
		求めら	- れる水準のサービスの提供・サービス向上に向]けた創意工夫をしているか					
		17	〇サービス向上等のために人材を育成してい るか	〇利用者へのサービス向上等のため、研修 計画を定め、計画に基づく人材育成を実施 している	×1		0		〇各種マニュアルは研修等で周知徹底し、各種会議での 議論を通じて、常に子どもたちの現状に即した実践的な内 容となるよう、リスクマネジメント委員会が中心となって精 査している。 〇新任職員の養育スキルアップのため、心理療法プログラ
									ムを導入し、職員間で支援に対する共通認識や共通言語 を持ち、子どもに接している。
		18	〇利用者意向や地域の福祉の現状等、事業 を取り巻く環境に関する情報を収集・活用し、 サービス内容が向上しているか	〇福祉サービス第三者評価を受審し、サブカテゴリー配下の標準項目数に対する実施ありの項目数割合が9割以上である	×2		0		〇子どもの「満足度アンケート調査」、寮会での子どもの要望、職員提案制度や職員アンケート等を園独自に実施し、 子どもや職員の意向を把握し、園運営の改善に役立てている。
事業効果	事業の取 組・サー ビス内容 の向上	19	〇サービス向上に向けた創意工夫をしている か	〇確認項目1~18(9及び15,16を除く。)のいずれかにおいて、「水準を上回る」取組を行っており、かつ、更に評価すべき取組や実績、成果が認められる〇ただし、上記確認項目のいずれかの評価が「水準を下回る」場合は、この項目は評価しない	× 2		O	_	〇基礎学力の向上を目指す中学生向けの学習会を開催したり、小学校5年以上の子どもを通塾の対象としたり、高校生向けの自立訓練・職場体験等を必要に応じて実施するなど、自立に向けた関わりをきめ細やかに行ない、進学・就職への道を広げている。
		行政等	 	<u> </u> いるか					
		20	〇行政や関係機関等と連携した事業を実施し ているか	〇年間事業計画等に基づき、都の政策と連動した事業や関係機関等との連携を図って いる	×1		0		〇事業計画等に基づき、児童相談所、学校、医療機関等 の関係機関と連携して事業を実施している。
		21	し地域の心政寺に対する垤胜促進、また、地域のスタイタ庁と地域で仕げまる時まとが	〇地域住民を招待するなど、施設に対する地域の理解促進に取り組んでいる。または、地域の求めに応じ、子育て家庭や障害者等を対象に講演会や相談会を開催するなど、地域で児童や障害者が安心して生活できるよう取り組んでいる	×1	0			○地域ボランティアやNPO法人、地域の他法人等と連携し、児童の社会参加や地域社会との交流を積極的に促進している。 ○地域社会のニーズに対応するため、社会福祉協議会や地域行事等の活動に参加するなど、地域と施設の相互交流を推進した。 ○遊歩道や遊戯ホール等を地域住民に開放するとともに、地域主催の夏祭り等に園の物品を貸し出し、職員が運営を担う等、地域との連携・協力を進めている。

特記事項

なっている。児童相談所、学校、医療機関等の関係機関と連携しながら、医療的・心理的ケア等の専門的支援を行った。 〇子どもの意見表明権を手厚く保障するため、子どもの側に寄り添って意見表明を支えるための周知・啓発を行っている。実際に令和6年4月施行の改正児童福祉法については、職員へ法改正

のポイントについてスライドにまとめたうえで説明を行い、職員の理解が深まるように取り組んだ。

〇園内における危険な箇所、死角となる場所を示した、死角マップを作成し、職員が有事に迅速に行動できるよう準備している。

要改善事項等なし

【1次評価結果】

	標準点		評価	基準	
評点	保华 从	S	Α	В	С
#17M	22点	30点以上	28点以上	20点以上	19点以下
	22	30点以上	29点以下	27点以下	13点以下

1 次評価 結果	得点	A
柏朱	29点	

【確認事項】

事業者の 特段の問題は見当たらない。 財務状況

特命要件の継続 公的役割を果たす施設として、都の政策との連動性及び管理運営の特殊性が高く、利用者への長期的な安定したサービス提供が求められるため(継続有)。

施設名 **東京都勝山学園** (所在地) (千葉県安房郡鋸南町下佐久間1469) 施設種別 児童養護施設 指定管理者 社会福祉法人東京都社会福祉事業団

【評価項目】

【評価項目	= 1							
大項目	中項目	確認項目	評価水準	配点	水準を上回る 2点	水準どおり 1点	水準を下回る 0点	評価理由
	ti	1 〇人員配置は適切か	か 〇法令等に基づく職員配置基準どおりに適 切に配置している 〇変更があった場合、事前に都に報告して いる	×1		0		○法令等に基づく職員配置基準どおりに適切に配置され ている。
		2 ・サービスの開始・終了時の対応は適切か		×1		0		
3	適切な管 理の履行	・個別状況に応じた計画策定・記録を行っているか		×1		0		〇入所時には不安を軽減してなるべく早く園に馴染めるよう、園長はじめとする関係職員と事前面接をした担当職員が揃って出迎えて歓迎の気持ちを伝えている。 〇施設全体の入所率は74.5%であり、服薬管理が必要な
		4 とともに、利用者が充実した生活を送れるよ	(項目ごとに評価をすること) 〇福祉サービス第三者評価を受審し、サブカテゴリー配下の標準項目数に対する実施ありの項目数割合が9割以上である	×1	0			児童が5割以上を超えており、児童相談所、学校、医療機関等の関係機関と連携しながら、医療的・心理的ケア等の専門的支援を行った。 〇退所後の生活を見通した自立自活訓練をし、卒園後社会生活に適応できるようにしている。児童一人ひとりの能
		・サービスの実施にあたって利用者のプライ バシーに配慮し、個人の意思を尊重してい るか		×1		0		力や背景、希望に応じた個別の進路指導計画に基づき計画的な支援を行っている。高校3年生にはNPO法人の協力を得て、巣立ちセミナーを実施し、引っ越しの手続きや金銭管理、危険から身を守るすべなど、一人暮らしに必要な知識やスキルが身に付けられるよう、自立に向けた研修を行なっている。
		6 事務所業務の標準化を図っているか		×1		0		
	糸	経営における社会的責任を果たしているか						
		7 ○社会人・福祉サービス事業者として守るべき ことを明確にし、その達成に取り組んでいるか	〇福祉サービス第三者評価を受審し、サブ カテゴリー配下の標準項目数に対する実施 ありの項目数割合が9割以上である	×1		0		○倫理綱領·養育理念の輪読や研修を行い共通認識を高
		8 不適切な支援の防止に努めているか	〇福祉サービス第三者評価を受審し、サブ カテゴリー配下の標準項目数に対する実施 ありの項目数割合が9割以上である	×2		0		め、権利擁護に配慮して事業を行っている。
管理 状況	法令等の	9 〇関係法令等 が遵守されているか	○「東京都指定管理者制度に関する指針」 Ⅲ8に基づき、協定で定める受託施設として 守るべき法律・条令等を遵守し、適切に施 設を運営している	×1	_	0		○法律、条例等を遵守し、適切に施設を運営している。
j	遵守、組 機マネジ (
•		10 〇個人情報やその他の情報資産を適切に管理しているか	(項目ごとに評価する)	×1		0		
			〇福祉サービス第三者評価を受審し、サブ カテゴリ一配下の標準項目数に対する実施 ありの項目数割合が9割以上である	×1		0		〇子どもに関する情報の管理は特に慎重に対応するよう 職員に徹底している。 〇リーフレットと広報誌「すいせん」で園の情報を子ども等 に提供している。
		12 ○都への報告は適時、適切になされているか 10 ○ 12 ○ 12 ○ 12 ○ 13 ○ 14 ○ 15 ○ 15 ○ 15 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○月例報告等、都への定例的な報告を適切に行っている ○事故等が発生した場合、必要な措置を 取った上で速やかに報告を行っている ○都による報告の聴取及び調査に対する 対応を適切に行っている	×1		0		○都への報告は適時、迅速に行われている。
	方	施設の安全性は確保されているか						
		13 スか	〇福祉サービス第三者評価を受審し、サブ カテゴリー配下の標準項目数に対する実施 ありの項目数割合が9割以上である	×1		0		〇ヒヤリハット報告書の簡素化と電子化で事故防止に役 立てている。
	安全性の確保	〇施設内外の構造物や設備等の安全確保や 14 防災等の取組を行い、利用者の安全を確保しているか	○構造物・設備等に関する法令等に定める 基準を遵守し、基本協定、年度協定で定める「施設及び付帯設備の管理に関する要 領」等に基づき、適切に管理している ○安全性を考慮した環境整備を行っている ○避難及び消火訓練を実施している(法令 等で定められた所定回数)	×1		0		○交通安全講習会の実施等により事故の未然の防止を 図っている。○感染症対策に力を入れ子どもや職員の身体や生命の 安全確保に努めている。
	j	適切な財務運営・財産管理が行われているか						
J	財務・財産の状況	O経理処理・経理に関する書類等の管理は適 I 切か (〇法人が行っている他の事業と経理を明確 こ区分している 〇契約帳簿及び収支を明らかにした経理帳 簿等を適切に整備・保管している	×1	_	0		○経理・物品関係の書類は、基本協定に基づいて処理さ
,		16 〇都有財産(物品など)の管理は適切か	○年度協定に基づく財産管理がなされている る ○保存物品整理簿を整備している ○不適格品、亡失品等を報告している	×1	_	0		れており、適切に経理処理及び財産管理が行われてい る。

	求	めら	れる水準のサービスの提供・サービス向上に向	引けた創意工夫をしているか				
		17	〇サービス向上等のために人材を育成してい るか	〇利用者へのサービス向上等のため、研修 計画を定め、計画に基づく人材育成を実施 している			0	〇新任職員が増加していることから事業計画で、OJT 進体制の強化として、新任職員育成担当者(チューター 中心にOJT推進担当者、他部門同室職員も含め園全体 新任職員の育成に取り組み、OJTに関する意識・能力に 上研修を園内で実施している。また、チームアプローチ 援困難児童事例研究会、外部研修派遣等の研修に参 せ、朝礼や養護研究会などで報告・共有し職員全体の門性やスキルの向上に力を入れている。
		18	〇利用者意向や地域の福祉の現状等、事業 を取り巻く環境に関する情報を収集・活用し、 サービス内容が向上しているか	〇福祉サービス第三者評価を受審し、サブカテゴリー配下の標準項目数に対する実施ありの項目数割合が9割以上である	× 2	0		○毎年園独自の利用者満足度調査「ほんとのきもちアケート」を行い、対面で自分の意見を表出しにくい子ども意見を表明できるようにしている。アンケート結果は読むすい冊子としてまとめて、職員のメッセージとともに子どに返している。 ○町教育委員会や子ども会、育成会の事業、青年会等域の団体やボランティアなどから地域情報を収集したり地域の人々との交流を通して、子ども達が生活の幅を
事業の理解を表現である。	- 容	19	〇サービス向上に向けた創意工夫をしている か	〇確認項目1~18(9及び15,16を除く。)のいずれかにおいて、「水準を上回る」取組を行っており、かつ、更に評価すべき取組や実績、成果が認められる 〇ただし、上記確認項目のいずれかの評価が「水準を下回る」場合は、この項目は評価しない	×2		0	げられるよう支援している。 〇看護師は、一人ひとりの子どもが自分の健康に関心持つように、身体測定や健康診断、週1回の各室の巡り時に、子どもに話かけながら質問に答えたり、「保健室り」の情報を説明するなど会話を大切にしている。子どらの相談については年齢に応じて理解できるように説明ている。病児の療養や健康保持・衛生に関すること、生習慣等は繰り返し話し、「保健だより」は各室等の見やところに掲示して習慣づくよう支援している。
	行	政等	との連携や地域との共生の推進に取り組んで	いるか				
			〇行政や関係機関等と連携した事業を実施し ているか	〇年間事業計画等に基づき、都の政策と連動した事業や関係機関等との連携を図っている			0	〇事業計画等に基づき、児童相談所、学校、医療機関 の関係機関と連携して事業を実施している。
		21	〇地域の施設等に対する理解促進、また、地域の子育て家庭や地域で生活する障害者が 安心して生活できるような取組を行っているか	○地域住民を招待するなど、施設に対する 地域の理解促進に取り組んでいる。また は、地域の求めに応じ、子育て家庭や障害 者等を対象に講演会や相談会を開催する など、地域で児童や障害者が安心して生活 できるよう取り組んでいる	^ '	0		○学園行事への招待、地区祭礼や小中学校の除草作等環境美化運動、災害時の相互応援などを通じて地域の交流・連携を一層促進させ、地域の一員として責任と割を果たしている。 ○体育館、グランド、園庭等の施設開放を各戸配付の報誌を通じて呼びかけるとともに、町行事等の参加協力請に積極的に応じている。

【1次評価結果】

特記事項

要改善事項等なし

	標準点		評価	基準	
評点	保华 从	S	Α	В	С
II ////	00 L	20年NL	28点以上	20点以上	10年以下
	22点	30点以上	29点以下	27点以下	19点以下

1次評価 結果	得点	A
結果 	28点	, ,

【確認事項】

事業者の 財務状況	特段の問題は見当たらない。		

〇毎年園独自の利用者満足度調査「ほんとのきもちアンケート」を行い、対面で自分の意見を表出しにくい子どもも意見を表明できるようにしている。アンケート結果は読みやすい冊子としてまと

めて、職員のメッセージとともに子どもに返している。 〇学園行事への招待、地区祭礼や小中学校の除草作業等環境美化運動、災害時の相互応援などを通じて地域との交流・連携を一層促進させ、地域の一員として責任と役割を果たしている。

特命要件の継続 公的役割を果たす施設として、都の政策との連動性及び管理運営の特殊性が高く、利用者への長期的な安定したサービス提供が求められるため(継続有)。

施設名 **東京都片瀬学園** (所在地) (神奈川県藤沢市片瀬四丁目9番地38号) 施設種別 児童養護施設 指定管理者 社会福祉法人東京都社会福祉事業団

【評価項目】 評価 大項目 中項目 確認項目 評価水準 水準どおり 水準を下回る 水準を上回る 配点 評価理由 2点 1点 0点 協定や事業計画に沿った管理が適切に履行されているか ○法令等に基づく職員配置基準どおりに適 ○法令等に基づく職員配置基準どおりに適切に配置され 切に配置している 1 〇人員配置は適切か 0 ○変更があった場合、事前に都に報告して ている。 いる ○業務の履行は適切か ┃・サービスの開始・終了時の対応は適切か 0 **×**1 ○入所面接は支援グループリーダーと寮職員が行うことを |基本としており、「生活のしおり」で寮での生活を説明し、好 きな献立をウェルカムメニューとして用意したりし、歓迎し |ている。卒園・退園する子どもに向けては、アフターケア計 ・個別状況に応じた計画策定・記録を行って 画をたて、関係機関と連携して一人ひとりの子どもの状況 **×**1 0 いるか 適切な に応じた連絡や訪問等を行ってる。 管理の 履行 ○アフターケア計画を立て、関係機関と連携して一人ひと りの子どもの状況に応じて、主に寮職員が中心となって定 (項目ごとに評価をすること) 期的に連絡や訪問をして退園後も継続して支援している。 ・個別の支援計画に基づき支援を実施する ○福祉サービス第三者評価を受審し、サブ とともに、利用者が充実した生活を送れるよ 0 子どもからの連絡は公用スマートフォンで随時受けてお **×**1 カテゴリ一配下の標準項目数に対する実施 |うに取り組んでいるか。 り、一人暮らしや公的手続きに関する不安が多く、必要に ありの項目数割合が9割以上である |応じて話し相手になったり、相談に応じて手続きに同行す るなど、自立生活ができるように支援している。 ・サービスの実施にあたって利用者のプライ ○施設全体の入所率は66.1%となっており、入所児童のう バシーに配慮し、個人の意思を尊重してい 5 × 1 0 ち8割が情緒的な問題を抱えており、また、非社会的行為 るか (授業妨害、いじめ等)のある児童も8割以上、服薬管理が 必要な児童も約6割と高い。児童相談所、学校、医療機関 等の関係機関と連携しながら、医療的・心理的ケア等の専 |門的支援を行った。 0 ・事務所業務の標準化を図っているか × 1 経営における社会的責任を果たしているか │○福祉サービス第三者評価を受審し、サブ 〇社会人・福祉サービス事業者として守るべき カテゴリー配下の標準項目数に対する実施 | ×1 0 ことを明確にし、その達成に取り組んでいるか ありの項目数割合が9割以上である ○社会人として遵守すべき法・規範・倫理などを法人就業 |規則、職員倫理規程、業務マニュアルに明示し、研修等で 周知徹底することで、職員の法令順守が浸透している。 管理 ○入所時に部門長が子どもの権利について伝え、子ども 状況 が集まる防災訓練時等に園長が「子どもの権利ノート」の ○福祉サービス第三者評価を受審し、サブ 所持を確認し、必要な時に周りの大人・支援者に相談する 〇利用者の権利擁護の取組を行うとともに、 カテゴリー配下の標準項目数に対する実施 ×2 0 不適切な支援の防止に努めているか ことの重要性を説明している。 ありの項目数割合が9割以上である 〇「東京都指定管理者制度に関する指針」 法令等 Ⅲ8に基づき、協定で定める受託施設として ○法律、条例等を遵守し、適切に施設を運営している。 9 | 〇関係法令**等**が遵守されているか **×**1 0 の遵守、 守るべき法律・条令等を遵守し、適切に施 組織マ 設を運営している ネジメン 個人情報保護、報告等は適切になされているか 0個人情報やその他の情報資産を適切に管 0 **×**1 理しているか (項目ごとに評価する) |○個人情報の保護、情報セキュリティー等情報管理を徹底| ○福祉サービス第三者評価を受審し、サブ している。 カテゴリー配下の標準項目数に対する実施 |ありの項目数割合が9割以上である| 〇子ども向けに「生活のしおり」を用意して、寮の生活や楽 |〇利用者へのサービス情報の提供はなされて 11 いるか × 1 0 しい行事についてたくさんの写真を載せて紹介し、ふりが |なをつけて分かりやすい表現で園生活を伝えている。 ○月例報告等、都への定例的な報告を適 ○都への報告は適時、適切に行われている。 切に行っている ○事故等が発生した場合、必要な措置を 12 〇都への報告は適時、適切になされているか 0 × 1 取った上で速やかに報告を行っている |○都による報告の聴取及び調査に対する 対応を適切に行っている 施設の安全性は確保されているか 13 〇リスクマネジメントに計画的に取り組んでい ○福祉サービス第三者評価を受審し、サブ カテゴリー配下の標準項目数に対する実施 | ×1 0 るか ○ヒヤリハットや事故の報告徹底を図り、事故防止・再発 ありの項目数割合が9割以上である 防止に取り組んでいる。 安全性 の確保 |○災害時の安全確保等については、事業継続計画(BCP) ○構造物・設備等に関する法令等に定める の他に園の地形的立地状況を考慮し、津波や洪水等を想 基準を遵守し、基本協定、年度協定で定め ○施設内外の構造物や設備等の安全確保や る「施設及び付帯設備の管理に関する要 定した避難確保計画を策定して高台への避難訓練を実施 14 |防災等の取組を行い、利用者の安全を確保し |領」等に基づき、適切に管理している 0 している。 〇安全性を考慮した環境整備を行っている ているか 〇避難及び消火訓練を実施している(法令 等で定められた所定回数)

			財務運営・財産管理が行われているか	I				
財務産の	·財 状	15	〇経理処理·経理に関する書類等の管理は適切か	〇法人が行っている他の事業と経理を明確 に区分している 〇契約帳簿及び収支を明らかにした経理帳 簿等を適切に整備・保管している	×1	_	0	〇経理・物品関係の書類は、協定に基づき適切に処 れており、適切に経理処理及び財産管理が行われて
<i>流</i>		16	〇都有財産(物品など)の管理は適切か	○年度協定に基づく財産管理がなされている ○保存物品整理簿を整備している ○不適格品、亡失品等を報告している	×1	_	0	る。
	才	えめら	れる水準のサービスの提供・サービス向上に向]けた創意工夫をしているか				
		17	〇サービス向上等のために人材を育成してい るか	〇利用者へのサービス向上等のため、研修 計画を定め、計画に基づく人材育成を実施 している	×1		0	〇「事業団人材育成方針」(人材育成計画)及びキャリスを策定して研修等で丁寧に説明し、職員の育成及でリアアップ等に資している。新任職員の育成でチュー・配置し、育成計画に基づき効果的なOJTを実践してい
		18	〇利用者意向や地域の福祉の現状等、事業 を取り巻く環境に関する情報を収集・活用し、 サービス内容が向上しているか	〇福祉サービス第三者評価を受審し、サブカテゴリー配下の標準項目数に対する実施ありの項目数割合が9割以上である	× 2		0	〇地域の青少年育成協力会、PTA等からの情報を収 て、職員間で共有し年間で計画を立てることで、子どの体験の幅を広げている。
事組しております。	・ ビス の	19	〇サービス向上に向けた創意工夫をしている か	○確認項目1~18(9及び15,16を除く。)のいずれかにおいて、「水準を上回る」取組を行っており、かつ、更に評価すべき取組や実績、成果が認められる ○ただし、上記確認項目のいずれかの評価が「水準を下回る」場合は、この項目は評価しない	× 2		0	○2人の心理職が役割分担をしながら、入所児童の不調に対応している。1人はセラピー室で個別の心理を中心にし、もう一人は各寮に出向き、寮の福祉職にしって子どもとのコミュニケーションをとることに重心をている。このようなバリエーションを持つことで、大きなかけるように、様々な場面で児童の心の不調を捉え、することができている。
	آ] 政等	との連携や地域との共生の推進に取り組んで	いるか				
		20	〇行政や関係機関等と連携した事業を実施し ているか	〇年間事業計画等に基づき、都の政策と連動した事業や関係機関等との連携を図って いる			0	〇市の地域公益事業推進法人協議会に参画し、その「福祉なんでも相談窓口」を開設し、園の機能や専門活かした地域貢献活動を行い、地域の一員として地域の向上に取り組んでいる。
		21	〇地域の施設等に対する理解促進、また、地域の子育て家庭や地域で生活する障害者が 安心して生活できるような取組を行っているか	〇地域住民を招待するなど、施設に対する地域の理解促進に取り組んでいる。または、地域の求めに応じ、子育て家庭や障害者等を対象に講演会や相談会を開催するなど、地域で児童や障害者が安心して生活できるよう取り組んでいる	×1	0		○子育て専門機関として「子育て講演会」の開催や地 ラブや子ども会への積極的な参加を通して、地域の教 境の向上に努めている。 ○地域の方々、青少年育成協力会、民生・児童委員 ランティアの協力を得て、園祭「しおかぜまつり」を開作 地域交流を推進した。

○アフターケア計画を立て、関係機関と連携して一人ひとりの子どもの状況に応じて、主に寮職員が中心になって定期的に連絡や訪問をして退園後も継続して支援している。子どもからの連絡 は公用スマートフォンで随時受けており、一人暮らしや公的手続きに関する不安が多く、必要に応じて話し相手になったり、相談に応じて手続きに同行するなど、自立生活ができるように支援して いる。

特記事項

〇2人の心理職が役割分担をしながら、入所児童の心の不調に対応している。1人はセラピー室で個別の心理療法を中心にし、もう一人は各寮に出向き、寮の福祉職に混じって児童とのコミュ ニケーションをとることに重心を置いている。このようなバリエーションを持つことで、大きな網をかけるように、様々な場面で児童の心の不調を捉え、対応することができている。

〇子育て専門機関として「子育て講演会」の開催や地域クラブや子ども会への積極的な参加を通して、地域の教育環境の向上に努めている。

要改善事項等なし

【1次評価結果】

	標準点	評価基準			
評点	保华从	S	Α	В	С
HT ///	22点	30点以上	28点以上	20点以上	19点以下
	22 M		29点以下	27点以下	

1次評価 結果	得点	В
結果	26点	

【確認事項】

事業者の 財務状況 特段の問題は見当たらない。

| 特命要件の継続 | 公的役割を果たす施設として、都の政策との連動性及び管理運営の特殊性が高く、利用者への長期的な安定したサービス提供が求められるため(継続有)。